

来場者からの感想（会場ポストイット）

マイバック・マイボトル

- ・脱使い捨て。マイボトルを持って歩こうと思う。
- ・これからはマイバックとマイボトルを使ってゴミを減らしていきたいです。
- ・マイボトルを使おう。
- ・私の決意。①マイボトルを使う②ポイ捨てをしない③お肉を買う時は簡易包装のを買う。
- ・昨年から生活が変わりました。新聞紙（ビニール代わり）でプラゴミはほとんどでない。初めの1歩です。

マイクロプラスチック

- ・マイクロプラスチックの回収装置を開発（海からの）はノーベル賞ものだ。まずは捨てない気持ちで。
- ・これからはプラスチックを使わない生活を意識します。
- ・プラごみを減らすようにいたします。
- ・katemeshibentoはプラスチックゼロを宣言します！お百しょう家にて
- ・今のままではマイクロプラスチックはいけない。

ゴミ問題

- ・ゴミをなくす。
- ・川に行ってゴミが落ちていたら、なるべく拾うようにします。
- ・私、町中のゴミ拾いをしています！ 拾ったゴミをコンビニ・スーパーのゴミ箱に捨てればいいんです。（ゴミ減ります）
- ・ゴミになる前に考えようと思う。未来のため地球のために。
- ・洗濯するのも気が引けます。どうしたらいいのかな。

子どもたち

- ・プラスチック、水、他環境問題。こんなに便利になって使い放題。どんな風になるのかずーっと気になってました。映画の中の子供たちは真剣に考えていました。それをしっかりサポートする大人達。大きな力になって動かしていくのですね。まだまだ未来は明るいものに変えて行けるのでしょうかね。
- ・NYの子供たちのパワーに感動しました。福島の子供たちに県が主体となって小・中・高等学校で上映会を開いて頂きたいと思いました。NYの子供たちのエネルギーとパワーを福島に！
- ・声優の子供たちもとても上手でした。実際にゴミ拾いもしてて偉いですね。子供の力ってすごい！感動しました。
- ・子供たちが主体的で素晴らしかったです。
- ・子供たち、大人たちの本気に感動！
- ・楽しそうな子供たちの表情が良かったです。
- ・木のフォークを使っていると「団結している気がする」というのが良かった。一人じゃないのよ。
- ・子供たちに負けられない！私たちもアクションを！
- ・子供たちの成長過程が素晴らしく意外にも泣いてしまう程感動しました。
- ・子供たちが立ち上がっていることに未来への希望を感じました。

できることから

- ・リサイクルよりそもそもゴミを減らす、その通り！自分に出来ることを考えます。
- ・今日から意識して生活していこうと思います。
- ・身の回りをもう一度確認して、少しでもプラ廃止しよう！
- ・まずは自分が出来ることから。自分ができるようになったら周りに影響を与えられるように、小さな1歩を大きな1歩にする。
- ・一人ひとりの意識の改革が必要。もっともっとリサイクルに関心を持つ。
- ・まずは自分が小さな事から始めて、周りの人に広げていきたいです。
- ・皆で1歩。未来の為に。
- ・出来ることから始めようと思った。そうすれば1人から2人、4人と増えて行くだろうと思った。
- ・出来ることを1歩ずつ。きれいな地球の為に！
- ・思いを続ける。

その他

- ・自分がされて嫌なことは、他人にはしてはいけない。当然。
- ・もう少し科学と世の中を勉強しましょう。SDGsは馬鹿発見器。
- ・リサイクルは本当にされている？ちゃんと知ろうと思った。
- ・素晴らしい。もっと広めたかった。
- ・マイクロプラスチックについてもっと知りたくなりました。
- ・日本古来の木や竹の食器の良さを見直してみても？と、思った。日本人は自然と生きる知恵を沢山持っていますが、このままだとなくなってしまうそう。
- ・ごみ「0」は無理なのだ。①リサイクルを高める。②企業（工場）は必要以上に作らない。③「江戸」時代のリサイクル方法を参考にする。
- ・今の日本の濃く買い議員の数は、衆参713名は多い。50名くらいにしろ。??

来場者からの感想（Webアンケート抜粋）

映画を見て

- ・ただの現状を憂う内容ではなく、子どもたちの頑張りで世の中を動かすストーリー。きっと、見た観客の心を動かし、行動変容につながっていくだろうと、ワクワクしました。
- ・字幕の方が情報量は多くなるのではないかと思うが、子どもと観れたので良かった。
- ・環境問題を切に考えさせてくれるステキな映画だと思えた。
- ・子供達に、きちんと向かい合う大人達がいるのが、良いですね。佐竹敦子さんのビデオメッセージも良かった。
- ・子どものうちから現実を知り、問題を解決しようとしていることを知り、もっと大人も興味をもって考えていかなければと思いました。
- ・プラスチックゴミは日光や海の流れによって、バラバラになることがわかりました。
- ・微生物取り込まれるマイクロプラスチック。
- ・2050年にはゴミの方が海の生き物よりも多くなるということを知りました。

トークイベントに参加して

- ・日頃の取り組みの重要性をあらためて感じました。
- ・亀岡市の取組が素晴らしく、安齋さん佐藤さんの活動も身近で、実践への機動力を頂けた。
- ・自分も取り組みを続けたいと思います。

プラスチック問題について

- ・マナーの問題、プラスチックに罪はないと思っていましたが、時間をかけてにはなりますが、無くしていくことが必要なんだと感じました。
- ・みんなで環境活動を行えば、環境を守る意識が広がる。
- ・プラスチック問題という個別具体的な事柄から、社会のあり方（科学や技術の使い方、安・楽・早の行き着く先は？）や個人のとしてのあり方（声を上げるとは？）を考えさせられた。
- ・プラスチックの使用を減らす事も大事だが、プラスチックを捨てている事が問題だと思います。せっかくプラゴミを分別しても、プラゴミを輸出して、輸入国が処理しきれずに、結果的に環境破壊をしている事実を、もっと知ってほしい。国も規制や輸入禁止をすると良い。
- ・子どもころから社会的な活動に関わると、視野が広がり勉強への意欲も高まると思うので、啓発的な活動が増えるのは良いことだと思います。
- ・普段の生活でもプラスチックを減らそうと意識している。完全に無くすことはすごく難しいが、せめて使い捨てプラスチックだけでも減らす努力や工夫は個人でも取り組めることだと思う。また、仕組みにすることでゴミを減らせるという亀岡市の事例を知り、ぜひ地元行政にも取り入れてほしいと思った。

プラスチック問題について（できること/やっていること）

- ・マイバッグ（エコバッグ、マイかご）を使う。
- ・マイボトル（エコボトル、水筒）を使う。
- ・「買い物は投票」なので、消費者(=自分)が何を選んで買うかということを重視している。これからも良く選んで買い物をしていこうと思っている。
- ・プラスチックの少ない容器のものを選ぶ（エコパッケージの肉、紙製包装の納豆など）。
- ・袋入りを買わない。
- ・お弁当は買わずに持参する。
- ・私は、コーヒーの上の蓋は無くても大丈夫です。
- ・不要な包装を断る。
- ・なるべく化繊ではない素材を選ぶ。
- ・柔軟剤を使わない（芳香剤マイクロカプセル）。
- ・ごみをできる限り減らす。
- ・分別と廃棄をきちんとする。
- ・正確な情報を知り環境に地球に生物に優しい環境作りに取り組む
- ・啓発活動。

こういう取り組みがあると良い/してみたい

- ・環境保護を行なっている店を知りたい。サイトがあればいいと思います。
- ・量り売り専門店。
- ・おそろいのトングやユニフォームでみんなでまちをキレイにする活動。
- ・学校での消費者教育。エシカル消費の普及。
- ・学校などの教育機関での講演やワークショップを開いてくれたら嬉しい。こどもの持つ影響力は絶大。こどもが学んでそれを保護者や大人に話すことで、大人たちは無視できなくなるはず。
- ・プラゴミを輸出して、それが環境破壊をしている事実を、もっとみんなに知って欲しい。